

待ちに待った春がやってきました。本年度も私たちは皆様から暖かいご支援をいただき、とても充実した音楽活動を進めていくことができました。発表の場を与えてくださった主催団体の皆様、聴きにいらしてくださった地域の皆様、私たちを毎日支えてくださった保護者の皆様、私たちはお世話になったたくさんの方々に感謝の心を込めて「第5回小さな春のコンサート」を開きます。

さて、今年度のプログラムからいくつかご紹介を！ 今年度のメインクラシックは歌劇「イーゴリ公」序曲（A・ボロディン）です。ロシアの大地と厳しい冬の景色…、ロシア土着の香りがすごく漂っている曲です。これまで演奏してきた千葉県文化会館や柏市民文化会館では、時間の制約があったところどころカットしましたが、春コンではノーカットで演奏する予定です！ 続いてのクラシックはフィンランドの作曲家（J・シベリウス）の交響詩「フィンランディア」です。フィンランドがかつて帝政ロシアの専政に苦しんでいた時代に作られた曲です。後半で輝かしく響き渡るフィンランディア賛歌を私たちも襟を正して演奏したいと思います。そして、アメリカのジョージ・ガーシュインによるジャズピアノとオーケストラを融合したシンフォニック・ジャズ「ラブソニー・イン・ブルー」。去年の春コンで軽妙な司会を務めた前部長が、今年はピアニストに変身して3年生ジャズオーケストラとの競演！ もう一大ニュースですね。

このほかにも、今年度のソロ・フィーチャー曲は例年以上にお楽しみ！ ゲスト歌手をお迎えして歌曲とオペラアリアをお送りするほか、スイングジャズのスタンダード「タイガー・ラグ」を、デカくてゴツくて地味だと思われがちなチューバセクションのソロでお送りするステージまで現れます！

さらに、我孫子中バンドといえ、ポップス、そしてラテン。天王台ふれあい夏祭りの「夕焼けコンサート」で毎年ルンバを踊って下さるお客様、そして天王台市民祭りでサンバを踊ってくれたちびっこたち…、もちろんこのステージでも踊っていただけますよね？ 私たちはまた例年のようにサンバやルンバ、もしかしたらマンボをも炸裂させ、お客様と一緒に楽しんでまいります！

春コン…それは今年度限りのメンバーによって、この時だけ奏でられる私たちの最終の目的地です。高野山 537 番地の一期一会…。おいでくださったお客様と、私たち自身が最高の思い出を残せるような、魅力たっぷりのコンサートに仕上げます。部員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております！

